資料1

令和8年度第1回青森市環境審議会（令和8年7月22日開催）での御意見と取扱いについて

＜計画素案に反映した意見＞

No.	項目	御意見（要約）	取扱い	素案反映頁
1	めざす将来像	計画に青森市の「魅力」を引き出すような内容を入れたらいいのでは。	「めざす将来像」の内容を以下のとおりとする。 1　めざす将来像 本市は、陸奥湾の豊かな海産資源と八甲田連峰の雄大な自然に恵まれ、四季折々の美しい風景や温泉地、青森のねぶた祭などのほか、縄文遺跡や中世の城跡などの歴史的遺産も多く、豊かな自然と文化が息づくまちであり、それらは市民一人ひとりが誇りを持つ地域資源となっています。	P.4
2	基本目標（全体）	めざす将来像の実現に向けた基本目標を設定するに当たり、青森市としての特色にも触れたらいい。	「基本目標」の内容を以下のとおりとする。 めざす将来像の実現に向けて、陸奥湾や八甲田連峰をはじめとした本市の恵み豊かな自然環境を保全するとともに、その自然環境と人の暮らしとの共生や公害対策などが図られた快適な生活環境の確保・向上、持続可能なごみの適正処理、地球温暖化対策と気候変動への適応、また、それら環境の保全と創造に自ら進んで取り組む人材育成が重要となっていることから、施策を推進するための柱となる5つの基本目標を次のとおり掲げます。	P.5
3	基本目標1 自然環境の保全と地域との共生	「自然環境の保全と共生」とあるが、自然環境と何の共生なのか分かるようにすればいい。	「基本目標１」を以下のとおり修正。 基本目標１　自然環境の保全と地域との共生	P.5
4		資料１の令和7年度市民意識調査の青森市の住みやすさでは「身近に親しめる自然がある」という回答が最も高くなっているが、資料２では、自然環境に対する関心が低く見えるので自然環境に関心を持つような、教育等が重要である。	「施策1 自然環境の保全及び環境負荷の低減」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・自然と環境の大切さを楽しみながら学ぶ学習機会の提供や普及啓発の活動などに取り組みます。	P.9
5		雪対策について、環境の部分に含めるか含めないか議論があると思うが、雪と共にどう生きていくか、それについてどのような事ができるのかということについて、検討していくことも大事では。	「施策1 自然環境の保全及び環境負荷の低減」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・海洋投雪する雪の適切な処理のため、海中に投雪する雪に混じるごみなどの流出を防ぐ雪処理施設の利用を促進します。	P.9
6		防災というキーワードも重要なので検討いただきたい。	「施策1 自然環境の保全及び環境負荷の低減」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・森林や田畑は、洪水発生や土砂の流出を防ぐ貯水作用など、様々な環境保全機能を有することから、開発事業者に対し、各種法令等の順守についての助言・指導を行います。	P.9
7	基本目標3 循環型社会の実現	ごみの減量化・リサイクルの推進に当たって、分野5の環境学習や教育、普及啓発という部分も大事である。	「施策1 ごみの減量化・リサイクルの強化」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・清掃ごよみの配布や出前講座などを通じた情報の発信・啓発活動により、リデュース（排出抑制）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）の浸透を図ります。	P.17
8	基本目標4 脱炭素社会の実現	アンケートからも情報発信の形態に工夫が必要だと思った。色々なメディアを使った環境リテラシーの向上を図るというような取組があればいい。	「施策1 省エネルギー対策の推進」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・ホームページやリーフレット、SNSなどを通じた温室効果ガス削減の必要性や効果などの情報発信に努めます。	P.20
9		（NO.6再掲） 防災というキーワードも重要なので検討いただきたい。	「施策4 気候変動への適応」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・気候変動による自然災害への対応のほか、農林水産業や経済活動などの各分野における影響について、国や県などとの情報共有や連携した適応策の推進に取り組みます。	P.23

No.	項目	御意見（要約）	取扱い	素案反映頁
10	基本目標５ 環境に配慮する人の育成	（NO.4再掲） 資料１の令和7年度市民意識調査の青森市の住みやすさでは「身近に親しめる自然がある」という回答が最も高くなっているが、資料２では、自然環境に対する関心が低く見えるので自然環境に関心を持つような、教育等が重要である。	「施策1 環境教育・普及啓発活動の推進」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・自然と環境の大切さを楽しみながら学ぶ学習機会の提供や普及啓発の活動などに取り組みます。	P.25
11		人材育成の部分は、座学と自然体験などの体験型学習の2つを意識していただきたい。		
12		（NO.7再掲） ごみの減量化・リサイクルの推進に当たって、分野5の環境学習や教育、普及啓発という部分も大事である。	「施策1 環境教育・普及啓発活動の推進」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・清掃ごよみの配布や出前講座などを通じた情報の発信・啓発活動により、リデュース（排出抑制）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）の浸透を図ります。	P.25
13		（NO.8再掲） アンケートからも情報発信の形態に工夫が必要だと思った。色々なメディアを使った環境リテラシーの向上を図るというような取組があればいい。	「施策1 環境教育・普及啓発活動の推進」の「主な取組」に以下の内容を記載。 ・ホームページやリーフレット、SNSなどを通じた温室効果ガス削減の必要性や効果などの情報発信に努めます。	P.25
14	その他	計画の実行主体について、基本は行政ということになると思うが、市民が日常生活で気を付けること、企業が普段の業務で実施すべきこと、市民活動団体が行政と市民・企業の間に立ってできることなど、それぞれのプレイヤーがどんなことをやっていくのかというまとめ方もあるのでは。	「第４章 環境への配慮行動」に市民・事業者が実施すべきことを記載。 「第５章 計画の推進 1 計画の推進に向けて」に関係団体などとの連携・協働について記載。	P.26 ～ P.29

＜その他の意見＞

No.	項目	御意見（要約）	取扱い	素案反映頁
15	基本目標１　自然環境の保全と地域との共生	森林の面積もこれまでで一番大きくなっており、野生鳥獣との「距離感」が近くなっている。文献には大量のイノシシを駆除していたという記録もあることなど、過去に学びながら有害鳥獣対応を考えてほしい。	今後の鳥獣対策をはじめ、個別の事業を検討する際の参考とする。	－
16	その他	アンケートの実施について、若い世代からの回答が少ないため、若い方は学校とかに連携して回答をお願いしたりするといいのでは。	今後、同様のアンケート調査等を実施する際の参考とする。	－
17		市民意見という面では、環境保全に取り組む市民活動団体から意見を聞くのもいい。		